

## 第39回 東名高速道路におけるタイヤ点検アンケート調査の結果報告

社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 南雲忠信）では、関係各位のご協力を得て、去る7月20日、東名高速道路・浜名湖サービスエリアに駐車中の自動車タイヤの点検並びにそのドライバーを対象としたアンケート調査を行ないましたので、その結果をここに発表致します。

このタイヤ点検は、タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図ることを目的に、東名高速道路が全線開通した当初より毎年、この時期に実施しているものであり、今年で39回目となります。

当会が実施しているこの他のタイヤ点検の結果からもタイヤの日常点検・整備等が適正に行われていないことが窺えるため、今後も本点検をはじめとする様々な啓発活動の中でタイヤ適正使用・管理の重要性を訴求して参ります。



### ● タイヤ点検・アンケート調査の対象車種及び目的

項目	対象車種	目的
タイヤ点検	乗用車 大型バス トラック	タイヤ整備不良に起因する自動車事故の未然防止を図る。
アンケート調査	乗用車 大型バス	タイヤ使用に関するドライバーの意識を調査し、正しい使用・管理方法をPRする。

### ● 後 援

経済産業省  
国土交通省  
社団法人 日本自動車工業会

### ● 協 力

中部運輸局  
関東管区警察局 川崎高速道路管理室  
静岡県警察本部 交通部 高速道路交通警察隊  
中日本高速道路株式会社 横浜支社  
社団法人 日本自動車連盟 中部本部

## 1. タイヤ点検結果の概要

今回、タイヤ点検を行った車両は乗用車189台、大型バス39台及びトラック69台の合計297台ですが、これら車両のタイヤ整備の概要は次の通りです。

表-1 タイヤ整備の「車種別」状況

車種	点検車両	タイヤ整備不良車両	不良率	増減	前回不良率
乗用車	189台	41台	21.7%	-19.8	41.5%
大型バス	39	6	15.4	+15.4	0.0
トラック	69	24	34.8	+21.5	13.3
計	297	71	23.9	-5.3	29.2

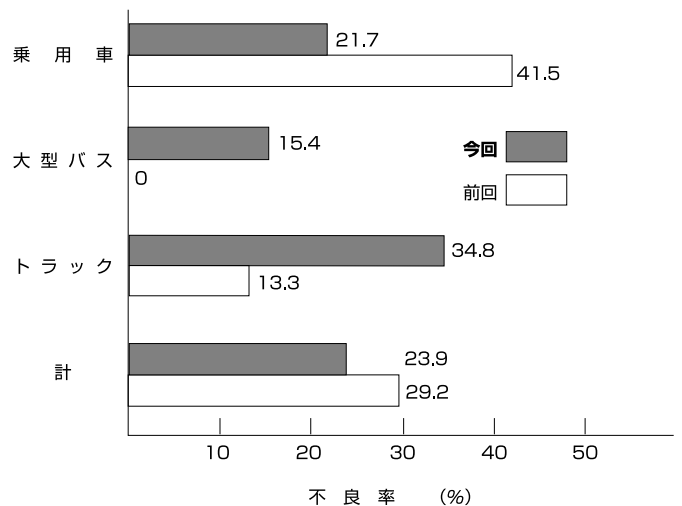
### 1-1 タイヤ整備の「車種別」状況について

タイヤ点検を行った車両297台のタイヤ整備状況は表-1の通りです。

- 1) タイヤの整備不良車両は297台のうち71台であり、不良率は23.9%になっています。
- 2) タイヤの整備状況を車種別にみると、不良率が一番高かったのはトラックで34.8%、次いで乗用車21.7%の順となっており、大型バスは15.4%でした。
- 3) タイヤの整備状況について今回と前回は比べると、全体の不良率は5.3ポイント減少しています。

(図-1参照)

図-1 車種別・タイヤ整備不良率の比較



### 1-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

タイヤの整備不良車両71台の「車種別・項目別 (79件)」内訳は表-2の通りです。

表-2 タイヤ整備不良の「車種別・項目別」内訳

不良項目	乗用車		大型バス		トラック		計		増減	前回不良率
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合		
タイヤ溝不足	1	0.5%	1	2.6%	11	15.9%	13	4.4%	+1.6	2.8%
偏摩耗	1	0.5	5	12.8	13	18.8	19	6.4	+2.6	3.8
外傷	0	0.0	0	0.0	1	1.4	1	0.3	+0.3	0.0
釘・異物踏み	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	±0	0.0
空気圧不足	35	18.5	—	—	—	—	35	18.5	-16.9	35.4
その他	6	3.2	1	2.6	4	5.8	11	3.7	-1.0	4.7
計	43	—	7	—	29	—	79	—	—	—

注)①乗用車の空気圧点検は実測。

- 1) タイヤ整備の不良項目 (計) を見ると、不良率1位は空気圧不足で18.5%、次いで偏摩耗が6.4%、タイヤ溝不足が4.4%の順となっています。
- 2) タイヤ整備不良率を項目別に前回結果と比較すると図-2の通り「空気圧不足」は16.9ポイントと大幅に減少していますが、それ以外の項目では「釘・異物踏み」「その他」を除く3項目で、ポイントは多くないものの増加という結果となっています。

図-2 項目別・タイヤ整備不良率の比較

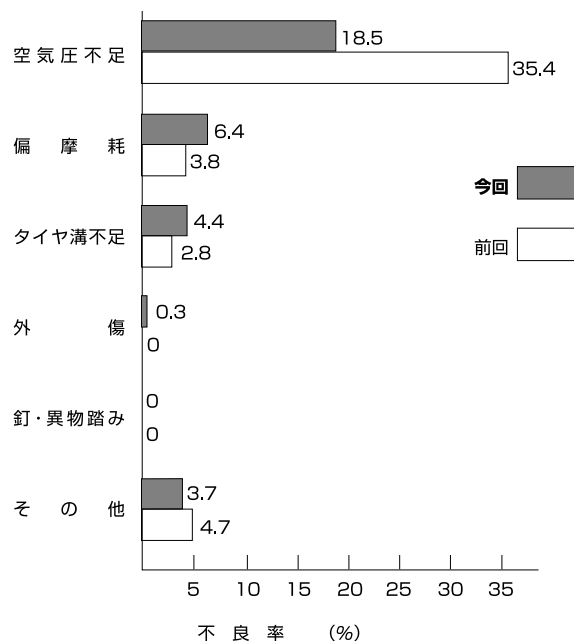


表-3 第39回 東名高速道路におけるタイヤ点検結果

	前回(参考) 第38回(2006.7.21)				今 回 第39回(2007.7.20)				増 減	
	乗用車	大型バス	トラック	計	乗用車	大型バス	トラック	計		
A. 点検車両(台)	65	11	30	106	189	39	69	297	—	
B. タイヤ整備不良車両(台)	27	0	4	31	41	6	24	71	—	
B/A. 不良率(%)	41.5	0.0	13.3	29.2	21.7	15.4	34.8	23.9	-5.3	
タイヤ整備不良の内訳(件数)	タイヤ溝不	0	0	3 (10.0)	3 (2.8)	1 (0.5)	1 (2.6)	11 (15.9)	13 (4.4)	+1.6
	偏摩耗	3 (4.6)	0	1 (3.3)	4 (3.8)	1 (0.5)	5 (12.8)	13 (18.8)	19 (6.4)	+2.6
	外傷(コードに達するもの)	0	0	0	0	0	0	1 (1.4)	1 (0.3)	+0.3
	釘・異物踏み	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
	空気圧不足	23 (35.4)	—	—	23 (35.4)	35 (18.5)	—	—	35 (18.5)	-16.9
	その他	4 (6.2)	0	1 (3.3)	5 (4.7)	6 (3.2)	1 (2.6)	4 (5.8)	11 (3.7)	-1.0
	計	30	0	5	35	43	7	29	79	—

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。  
 2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100  
 なお、「タイヤ整備不良の内訳(件数)」の( )は不良率を示す。

### 1-3 トラック(積載4t以上)の空気圧実測結果について

大型車両に対する空気圧管理の啓発をより一層推進することを目的に、積載量4t以上のトラックに装着されているタイヤについても空気圧の実測を行いました。

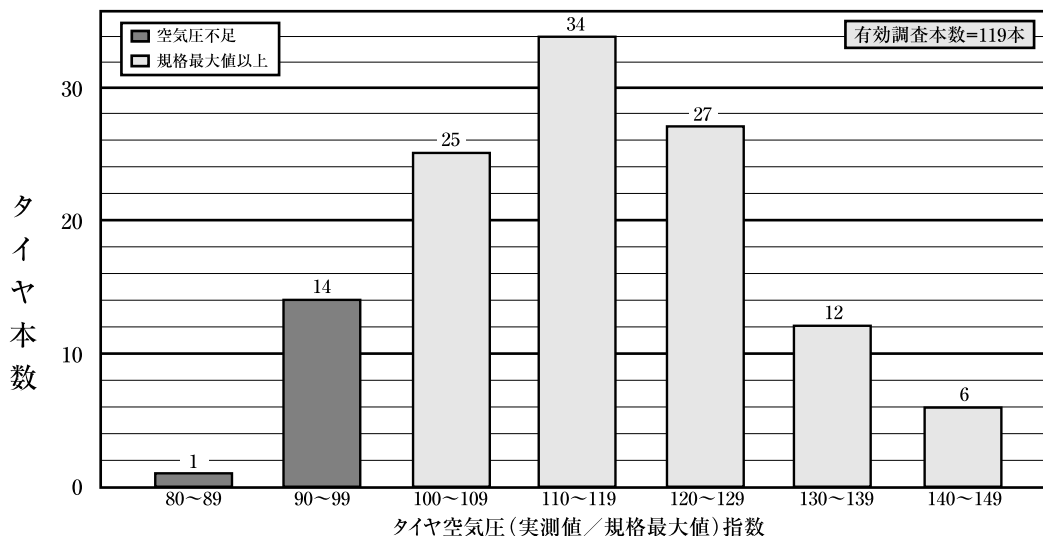
空気圧点検専門チームを設けて実施した本点検の結果は以下の通りです。

- 1) トラック(積載4t以上)の空気圧点検を実施したところ、60台中9台に装着されたタイヤで空気圧不足の状態がありました。
- 2) 空気圧実測での不良率は15.0%と前回(点検台数30台、空気圧不足車両3台、不良率10.0%)に比べ5.0ポイント増えています。

なお、空気圧実測以外でのトラックの点検結果では、特に偏摩耗とタイヤ溝不足の整備不良結果が目立っていることから、引き続き適正使用のPRが必要と考えられます。



図-3 タイヤ規格最大値に対するユーザー空気圧管理実態(大型トラック)



## 2. アンケート調査結果の概要

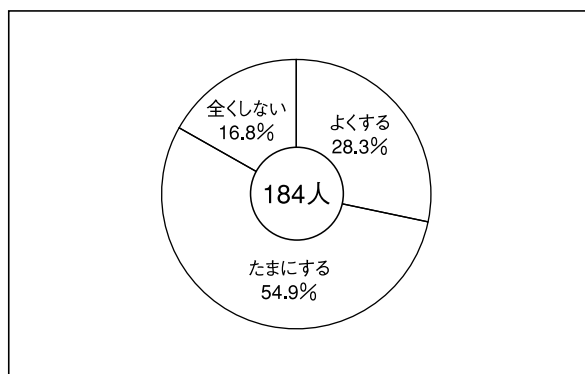
今回のアンケート調査では、乗用車のドライバー184人、大型バスのドライバー40人に回答を戴きました。それぞれの質問に対する回答は次の通りです。

(グラフの中心に表示している数字は当該質問の有効回答者数です)



### 《乗用車》

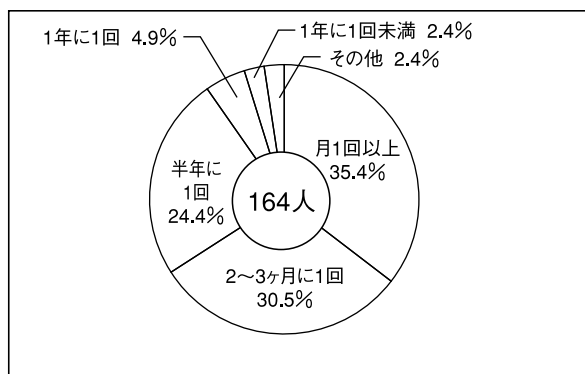
#### Q1 日頃タイヤ点検をすることがどの程度ありますか？



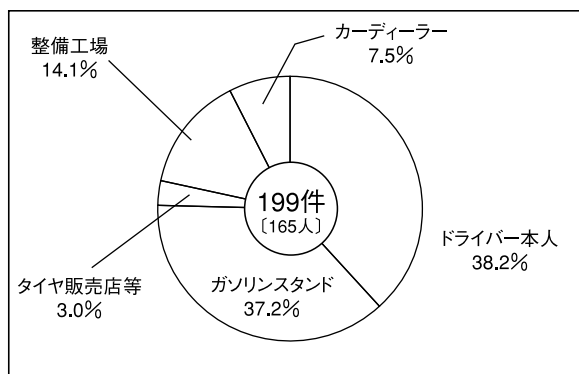
点検する 153人 (83.2%)      よくする 52人 (28.3%)  
 たまにする 101人 (54.9%)  
 全くしない 31人 (16.8%)

タイヤの日常点検実施については、52人が「よくする」28.3%、101人が「たまにする」54.9%とかなり多くのドライバーが行っているものの、「全くしない」というドライバーが31人 (16.8%) もいることから、タイヤ日常点検の必要性に対する意識が不十分であることがわかりました。

#### Q1-2 それほどの位の頻度で行いますか？



#### Q1-3 誰が(又はどこで)点検を行いますか？(複数回答)



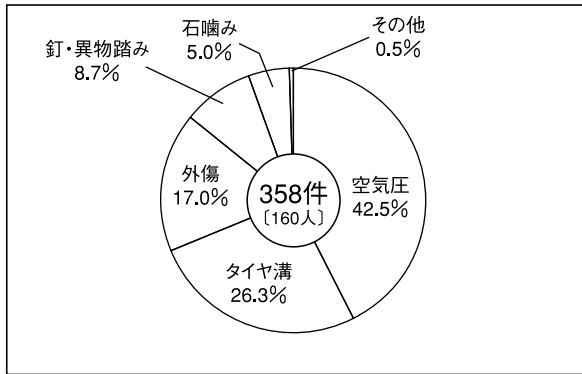
### タイヤの日常点検頻度について

前質問(Q1)で日常点検を実施すると回答したドライバーは全体の約8割強を占めたものの、月1回以上の点検実施者は4割にも満たないことがわかりました。

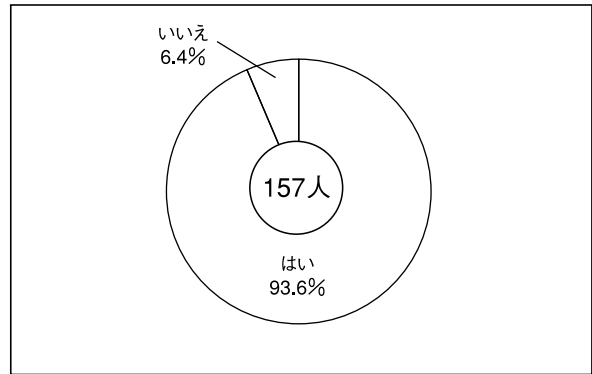
### タイヤ点検の実施場所について

ドライバー本人が点検するが76件 (38.2%) でもっとも多く、次いでガソリンスタンドで点検する74件 (37.2%) の順となっています。

#### Q1-4 何を点検しましたか？（複数回答）



#### Q1-5 空気圧はエアゲージで点検していますか？



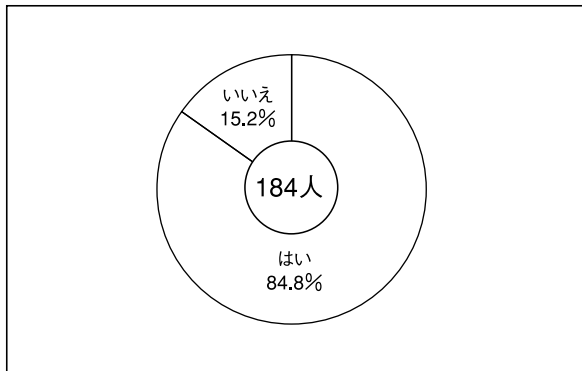
#### タイヤの点検項目について

実際にタイヤを点検する際の実施項目については、「空気圧」を点検するとの回答が152件（回答総数の42.5%）で最も多く、次いで「タイヤ溝」の点検が94件（26.3%）となっています。

#### エアゲージの使用について

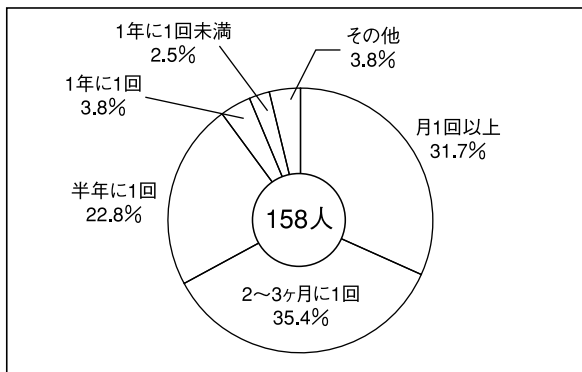
エアゲージを使用して空気圧を点検していると回答されたドライバーは157人中147人（93.6%）でした。

#### Q2 タイヤの空気が自然に漏れると思いますか？



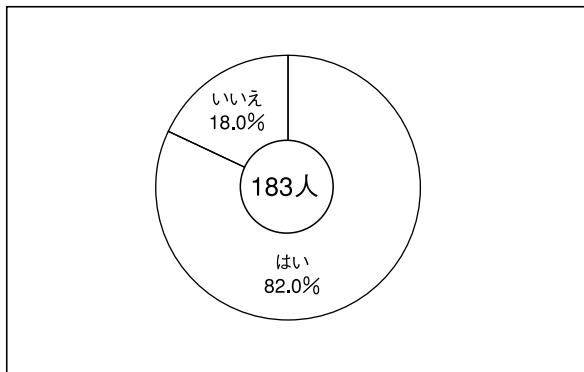
タイヤの空気が自然に洩れることを知っているドライバーが184人中、156人（84.8%）いるものの、28人（15.2%）のドライバーがタイヤの空気が自然に漏れることを知らないことがわかりました。

#### Q3 タイヤの空気圧はどの位の頻度で点検していますか？



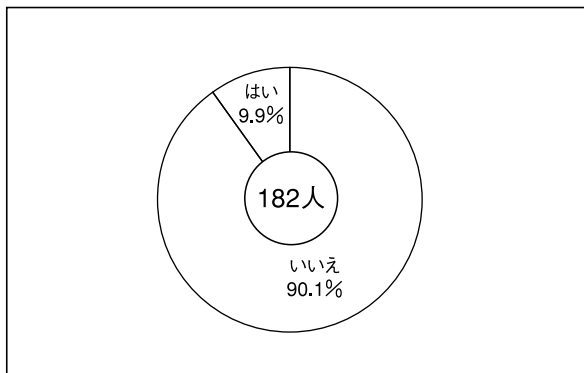
158人中、50人（31.7%）のドライバーが月1回以上空気圧を点検しているものの、点検頻度が1年に1回若しくはそれ以下というドライバーが10人（6.3%）いることがわかりました。

**Q4 指定空気圧がどこに表示されているかご存知ですか？**

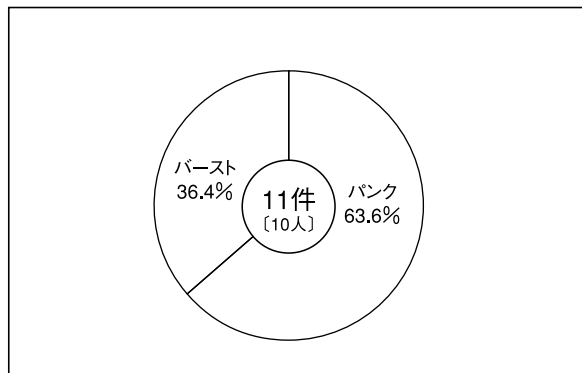


知っていると答えたドライバーは183人中150人(82.0%)おりました。

**Q5 高速道路を走行中、タイヤトラブルを  
起こしたことがありますか？**



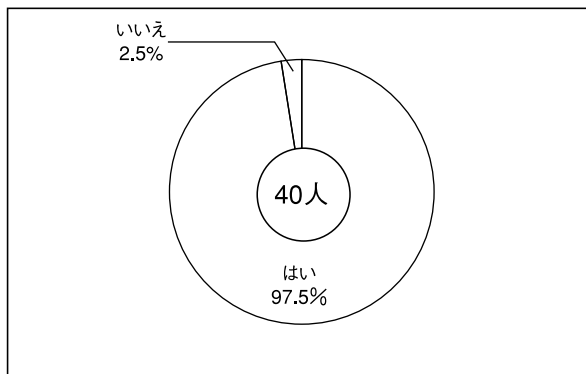
**Q5-1 それはどんなトラブルですか？  
(複数回答)**



182人中18人(9.9%)と約1割のドライバーがタイヤトラブルを経験していることがわかりました。  
また、トラブルの内訳はパンクが7件(63.6%)、次いでバーストが4件(36.4%)となっておりこの2つの項目がトラブルの全てを占めています。

## 《大型バス》

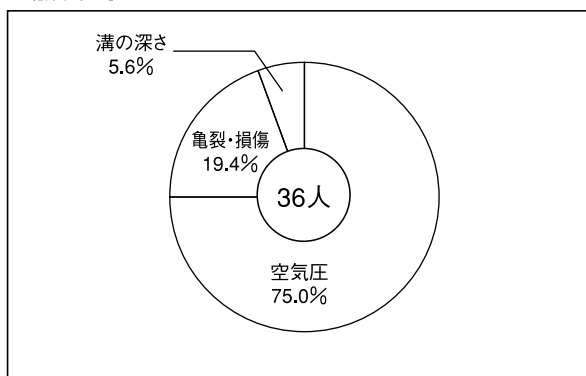
### Q1 出発前にタイヤ点検をしましたか？



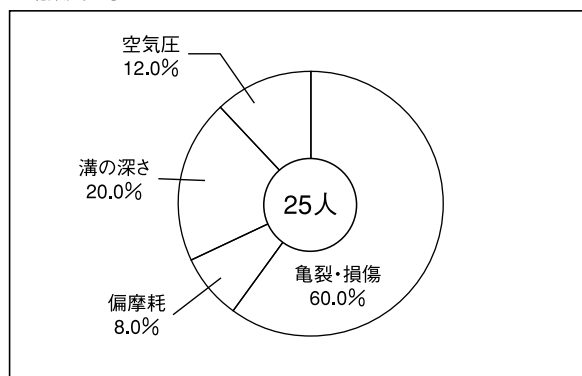
アンケートを受けたドライバー40人中39人（97.5%）が出発前のタイヤ点検を実施していました。

### Q1-2 何を重点的に点検しましたか？（2つ挙げて下さい）

#### 重点度1位

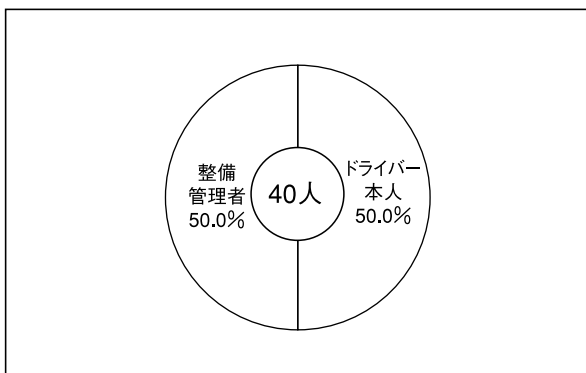


#### 重点度2位



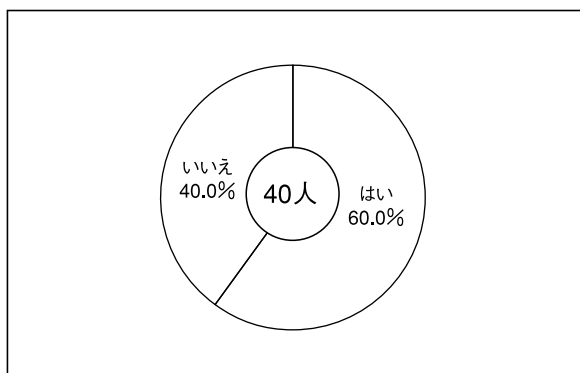
空気圧 36人中27人（75.0%）、亀裂・損傷 25人中15人（60.0%）とこの2つの項目を重点的に点検しているドライバーが多いことがわかりました。

### Q2 タイヤの定期点検は誰が行いましたか？



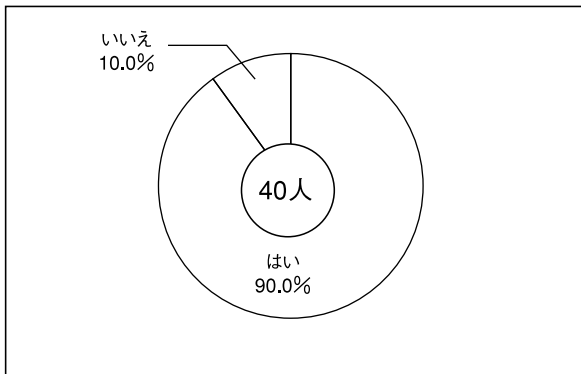
自分自身でタイヤの点検を行ったというドライバーは20人（50.0%）、整備管理者が行ったのも20人（50.0%）でした。

### Q3 このバスのタイヤの指定空気圧を知っていますか？

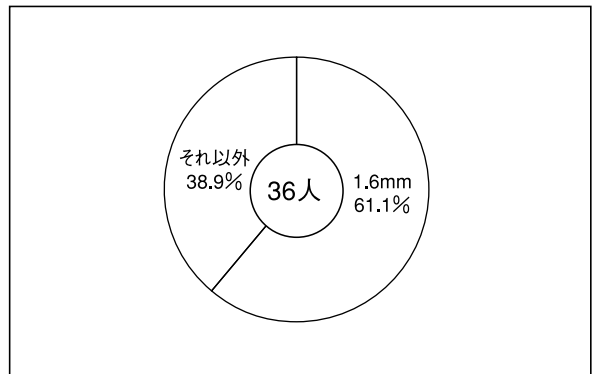


タイヤの指定空気圧を知っているドライバーは24人（60.0%）、知らないドライバーが16人（40.0%）いることがわかりました。

**Q4 「スリップサイン」という言葉を知っていますか？**

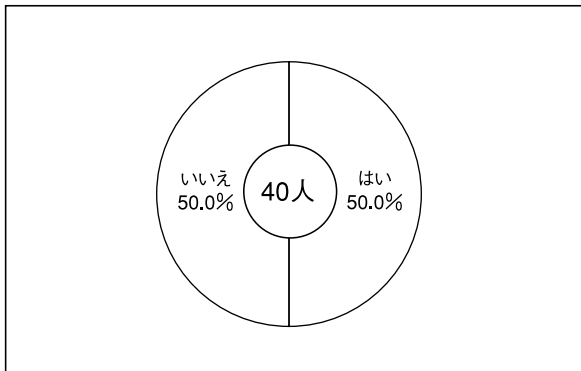


**Q4-1 それは残り溝何mmであられますか？**

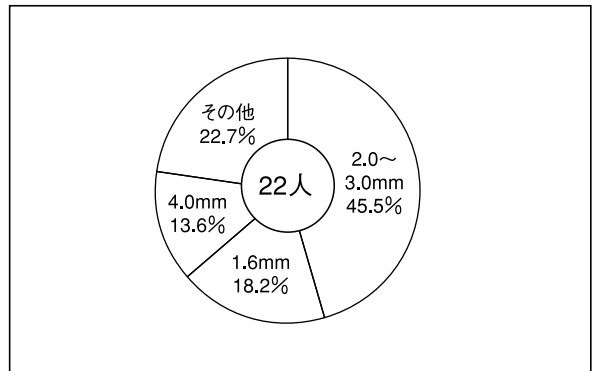


スリップサインを知っていると回答されたドライバーが36人（90.0%）いるものの、その値1.6mmを知っているドライバーは22人（61.1%）と、3人に1人が正しく理解していませんでした。

**Q5 タイヤ取替時の溝深さについて、会社から指示されていますか？**

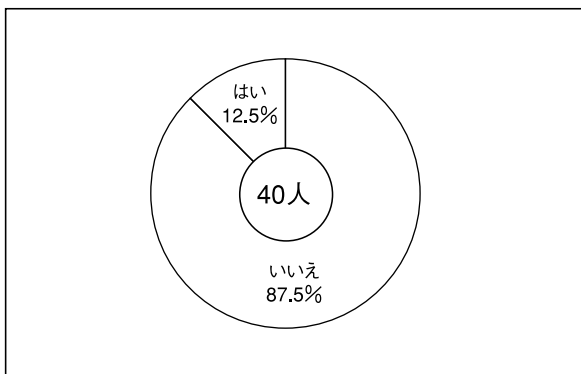


**Q5-1 それは何mmですか？**

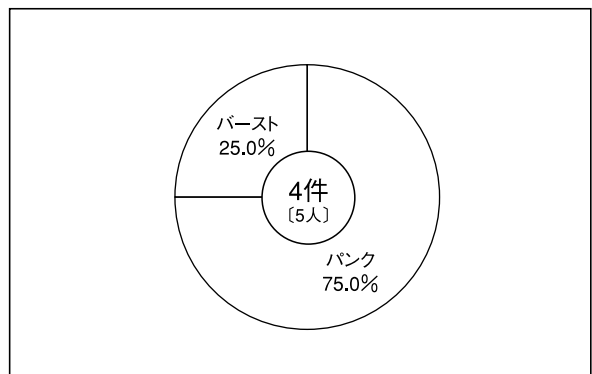


大型バスでは高速走行時の摩耗限度が3.2mmと規定されています。アンケートの結果、取替時の溝深さを会社から指示されているドライバーは20人（50.0%）、指示なしは20人（50.0%）となっています。高速走行時に必要とされる残り溝深さ3.2mm以上でタイヤ取替を指示されているドライバーは3人（13.6%）でした。

**Q6 高速道路を走行中、タイヤトラブルを起こしたことがありますか？**



**Q6-1 それはどんなトラブルですか？（複数回答）**



タイヤトラブルの経験があると回答されたドライバーは5人（12.5%）でした。又、そのトラブルの内容はパンクが3件（75.0%）、次いでバーストが1件（25.0%）となっており、乗用車のアンケート結果同様、パンクとバーストが占めています。（1人回答なし）